様式第5号（第6条関係）

令和8年04月13日

山県市議会議長　　様

山県市議会議員　　古川雅一

政務活動費収支報告書

山県市議会政務活動費の交付に関する条例第6条に基づき、下記のとおり令和７年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

1　収入

政務活動費　　240,000 円

2　支出　　（単位：円）

項目	金額	備考
調査研究費	0	
研修費	68,020	セミナー 伊自良十六拍子の視察
広報費	0	
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
人件費	0	
事務所費	0	
合計	68,020	

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3　収入支出差引額　　171,980 円

様式第3号（手引き第4章関係）

令和７年度　山県市議会政務活動費会計帳簿

議員名　　古川　雅一

（令和７年4月1日　から　令和８年3月31日）

単位（円）　【1－1】

日付		整理番号	条例別表の項目名	適　用	領収額	政務活動費充当額	支出可能額（残）
6	29	1	研修費	伊自良十六拍子の視察	35,440	34,860	205,140
1	8	2	研修費	地域未来ビジョン創造セミナー	33,160	33,160	171,980
合計					68,600	68,020	

注　この会計帳簿に記載する整理番号及び政務活動費充当額は、領収書貼付用紙の記載した整理番号及び政務活動費充当額と一致する。

様式第６号（第６条関係）

領収書貼付用紙

年度	令和７年度	項 目	研修費
整理番号	1	議員名	古川雅一
支出の按分の状況	(按分の内容)		
	(按分率)	(政務活動費充当額)	34,860
領収書の補足説明	宿泊費、新幹線代（JR名古屋駅～JR東京駅往復）イベント「Maturi Japan2025」に出演する伊自良十六の視察		

領収書又はこれに準ずる書類　別紙

EX

領収書番号：00657NN7
表示日時：2025/07/01 8:04

領収書 (RECEIPT)

宛名 (RECEIVED FROM) 古川 雅一様

領収金額 (THE SUM) ¥35,440-

取引内容 (IN PAYMENT) 新幹線+宿泊代金として (税込み10%)
(For Shinkansen charge and accommodation fee) (10% including tax)

領収日 (DATE OF RECEIPT) 2025/06/02

ご出発日 (DEPATURE DATE) 2025/06/29

お問合せ番号 (APPLICATION NUMBER)

お支払方法 (PAYMENT METHOD) クレジットカード (CREDIT CARD)

旅行代金 (TRAVEL CHARGE) ¥35,440-

内訳 (DETAILS)

クレジットカード (CREDIT CARD)	¥35,440-
EXポイント (EX POINTS)	
クーポン (COUPON)	
補助金 (SUBSIDY)	

往復新幹線代金 21,760円

宿泊代金 13,680円

合計 35,440円

宿泊代金超過分の580円を差し引いた

34,860円を政務活動費として支出

株式会社ジェイアール東海ツアーズ
JR TOKAI TOURS, INC
登録番号 (T6010001046449)

様式第4号（第5条関係）

令和　　7年　6月　30日

山県市議会議長　　様

山県市議会議員　　古川　雅一

研修視察等報告書

山県市議会政務活動費の交付に関する規則第5条の規定により、下記のとおします。

記

1　期　　間　令和 7 年 6 月 29 日から 7 年 6 月 30 日

2　研修視察先　高輪ゲートウェイ、武藤容治衆議院議員事務所

3　研修視察名　伊自良十六拍子の見学、地方創生などの研修

4　研修視察者　古川雅一、武藤孝成、吉田茂広、寺町祥江、田中辰典、河合雅俊

5　概　　要　別紙参照

6　効　　果　別紙参照

様式第1号（手引き第3章関係）

令和７年度　山県市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名　　古川雅一

１．会の名称　議員有志の会	
２．開催日時	令和7年　6　月　29　日（日） 17時　0分　～　18時　0分
３．会場	東京都港区高輪ゲートウェイ駅コンベンションセンター
４．参加議員名	古川雅一、武藤孝成、吉田茂広、寺町祥江、 田中辰典、河合雅俊
５．参加人数	６名
６．内容（目的）	イベント「Maturi　Japan2025」に出演する伊自良十六の視察

注１　関係書類を添付すること。

注２　事業ごとに別様として作成すること。

1日目のチケットはこちら

2日目のチケットはこちら



MATSURI JAPAN 2025

Produced by HAPPO-EN

IN TAKANAWA GATEWAY CITY

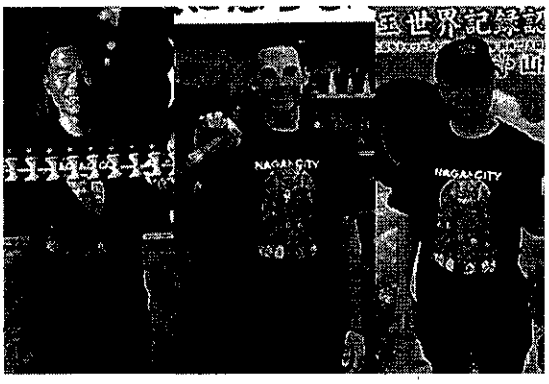
日本の”祭り-MATSURI-”が集まる2日間

昼の部

夜の部

※緑日エリアは終日（11:00～19:30）OPEN

1日目のチケットはこちら　2日目のチケットはこちら



山形県長井市

けん玉パフォーマンス 秋元悟氏／シェルビー・ブラウン氏／トーマス・ホワイトヘッド氏

競技用けん玉生産量日本一を誇る山形県長井市より、けん玉パフォーマーの3名によるスペシャルコラボレーションをお届けします。

[秋元悟氏]
山形県長井市在住。2014年けん玉ワールドカップにて3位。けん玉フリースタイル世界大会審査委員長を務め、60連けん玉にも成功しています。

[シェルビー・ブラウン氏]
日本けん玉協会「四段」の腕前をもつけん玉名人。現在は、長井市の地域プロジェクトマネージャーとしても活躍しています。

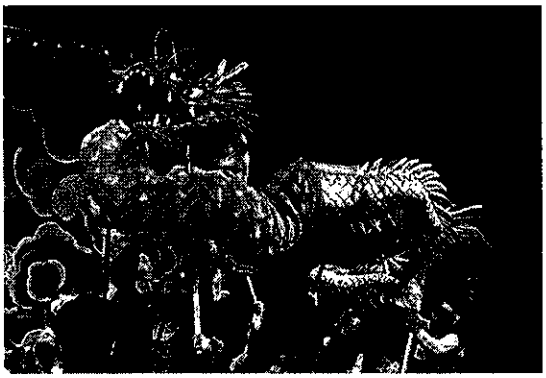
[トーマス・ホワイトヘッド氏]
長井市地域おこし協力隊の隊員で、けん玉イベントの主催などを行いながら、けん玉のまち長井の魅力を世界に発信しています。



福島県南会津町

會津田島太鼓

會津田島太鼓は、福島県南会津町で2007年に結成。
地元の伝承を元にした創作太鼓を作曲、演奏し、すべての曲がひとつの物語となるように、語るように太鼓を打ちます。「人の心を打つ太鼓」を目標に日々練習を重ね様々なコンテスト等にも挑戦、その全てに優秀な成績を収めています。
また、和太鼓を広く未来へ繋げていくため和太鼓教室等も開催。和太鼓の普及、地域活性、地元・南会津の観光PR等を和太鼓の響きに乗せて積極的に行い、南会津の音を日本各地、海外にも発信しています。



岐阜県山県市

伊自良十六拍子

伊自良の雨乞い太鼓「伊自良十六拍子」は、約400年前から地域住民に伝承される伝統芸能。
その昔、伊自良地区で日照りが続くと釜ヶ谷の山頂に集まり、太鼓と鉦を雷鳴のよう打ち鳴らし、竜巡しをすることで雨をよんでいました。山県市重要無形民俗文化財に指定されています。



東京高円寺阿波おどり

東京高円寺阿波おどりは、1957年にまちの賑わいを求め始まりました。以来本場徳島の支援と長い歴史に磨かれ、東京の夏の風物詩と呼ばれるようになりました。
毎年8月下旬の開催2日間には10,000人以上の踊り手と、100万人近くの大観衆で高円寺のまちは阿波おどり一色になります。

様式第1号（手引き第3章関係）

令和７年度　山県市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名　　古川雅一

１．会の名称　議員有志の会	
２．開催日時	令和７年　6　月　30　日（月　） ９時　30分　～　11　時　30分
３．会場	衆議院第二議員会館（武藤容治衆議院議員事務所）
４．参加議員名	古川雅一、武藤孝成、吉田茂広、寺町祥江、 田中辰典、河合雅俊
５．参加人数	6名
６．内容（目的）	地方創生2.0の取り組みについて ふるさと住民登録制度の創設について 全世帯型社会保障について 就職氷河期世代等の支援について

注１　関係書類を添付すること。

注２　事業ごとに別様として作成すること。

第１回　就職氷河期世代等支援に関する関係閣僚会議 （令和７年４月25日）	資料１

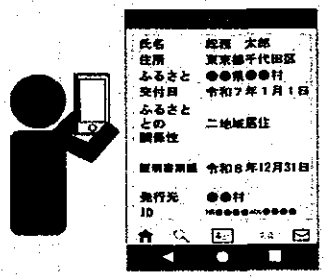
就職氷河期世代等の支援について

2025年4月25日
内閣官房
就職氷河期世代支援推進室

「ふるさと住民登録制度」の創設について

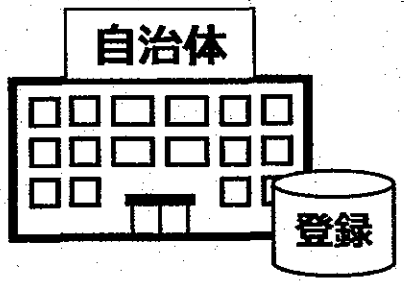
- 「地方創生２．０」の実現に向けた取組として、「関係人口」に着目し、**住所地以外の地域に継続的に関わる方々を登録できる「ふるさと住民登録制度」の創設**に向けて検討中。
- 「関係人口」の地域との関わり方には、**消費活動等による地域経済への貢献**や、**ボランティアや仕事を通じた地域の担い手としての貢献**など、それぞれのスタイルに応じた様々な形がある。
- できるだけ多くの方々に地域を応援していただけるよう、**誰もがアプリで簡単・簡便に登録**でき、また**自治体の既存の取組を緩やかに包含**できるような**柔軟かつ間口の広い仕組み**の構築を目指す。

目指す姿のイメージ

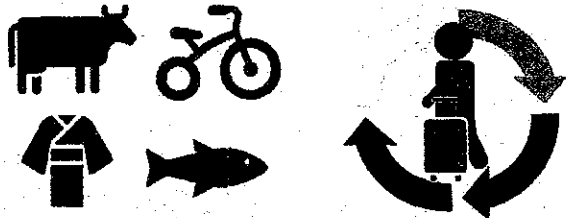


ふるさと住民アプリ
（登録証表示）

登録 ↓ ↑ 発行



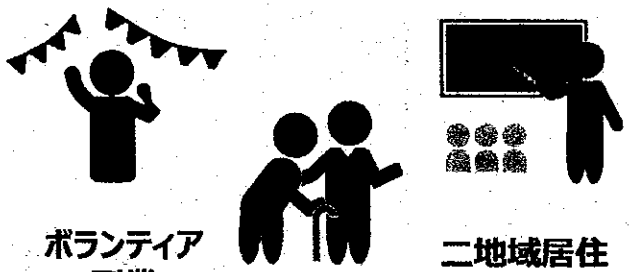
地域経済の活性化



特産品購入
ふるさと納税

観光リピーター

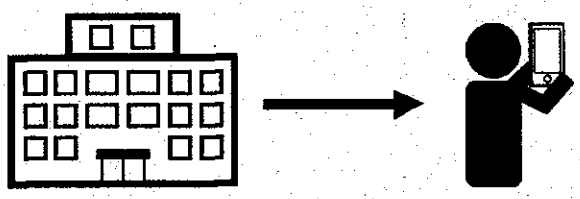
地域の担い手確保



ボランティア
副業

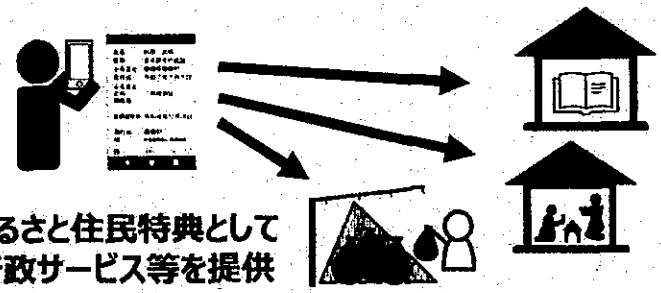
二地域居住

ふるさと住民への情報提供や行政サービス等の提供



活動に役立つ各種情報を発信

地域への貢献



ふるさと住民特典として
行政サービス等を提供

厚生労働省 ひと、くらし、みらいのために Ministry of Health, Labour and Welfare

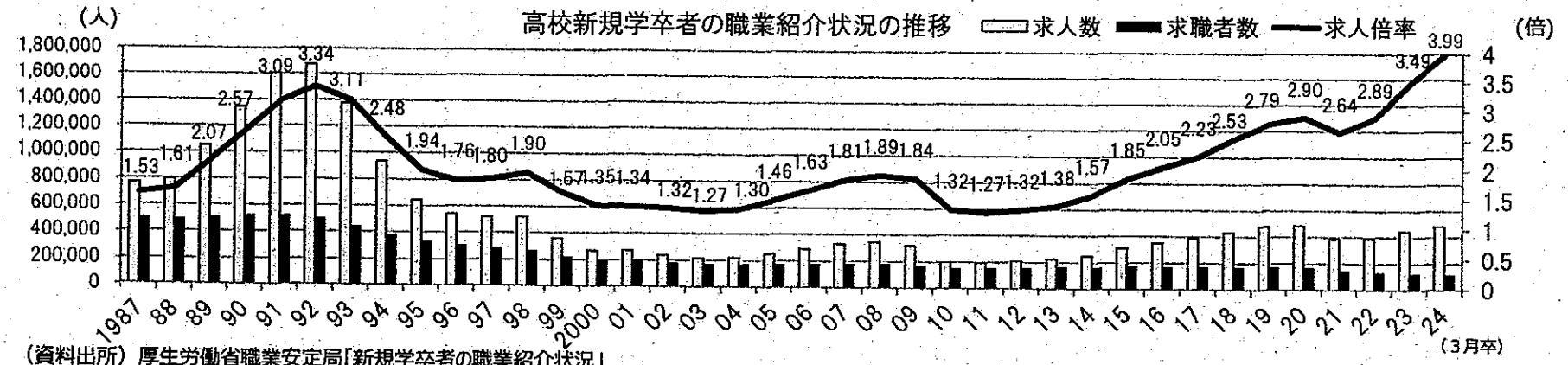
全世代型社会保障について

令和７年６月３０日

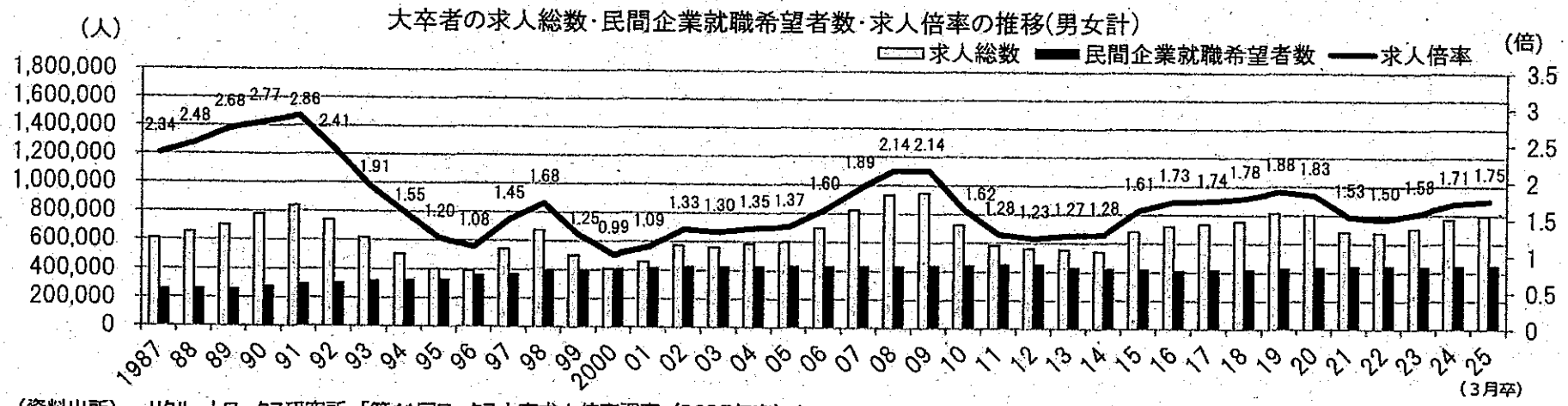
厚生労働省　政策統括官（総合政策担当）付政策統括官室

新規学校等卒業者の求人倍率等の推移

○ 新規学校等卒業者の求人倍率をみると、バブル景気の頃には3倍前後あったものが、その後低下し、2000年代前半の景気の回復に伴う上昇と、2008年秋のリーマンショックの影響による低下を経て、2024年３月の高卒者に対する求人倍率は3.99倍、2025年3月の大学卒業予定者に対する求人倍率は1.75倍となっている。



（資料出所）厚生労働省職業安定局「新規学卒者の職業紹介状況」
（注）「新規学卒者の職業紹介状況」については、各年6月末までにハローワーク及び学校で取り扱った求職者数に対する求人数の割合である。



（資料出所） リクルートワークス研究所「第41回ワークス大卒求人倍率調査（2025年卒）」
※調査期間：令和6年1月25日～3月1日

令和７年１２月２４日

山県市長　林　宏優　様

山県市議会議員
武藤孝成　吉田茂広　山崎通　古川雅一
寺町祥江　田中辰典　武藤行儀　河合雅俊

地方創生、子ども子育て支援、就職氷河期世代支援に関する提言

「消滅可能性都市」という指摘を転機とし、
すべての人が山県市に生まれてきてよかったと思えるまちへ

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計等に基づき、山県市は「消滅可能性都市」に該当すると指摘されている。これは悲観論やレッテル貼りではなく、どの分野に重点的に取り組むかを明確にし、施策の選択と集中によって将来像を描き直していくための重要な指標であり、今こそ施策の優先順位を見直し、重点化を図ることで、自治体としての持続性を高めていく転換点である。

これまで国は地方創生の名のもと、工業団地造成や交流人口の拡大、ふるさと納税などに取り組んできたが、東京一極集中には依然として歯止めがかかっていない。
その背景には、大学進学や就職を契機とした若年層、とりわけ女性の流出が続き、地域がファーストキャリアの場として選ばれていないという構造的課題がある。

山県市においても、自然環境や住環境の良さから一定の転入は見られる一方で、学業や職業を理由とした若年層の転出超過が続いている。
特に20代女性の転出は顕著であり、若者や女性のニーズに合致した雇用や働き方が十分に提供・認知されていない現状を、真摯に受け止めなければならない。

さらに、いわゆる就職氷河期世代は、賃金上昇の停滞、資産形成の遅れ、住宅ローン、親の介護、子の教育費といった負担が重なる世代であり、この世代が地域で生活基盤を維持し、次世代を支え続けられるかどうかは、市の将来を左右する重要な要素である。

こうした現実を踏まえれば、今後の市政運営においては、
「すべてに薄く配る予算」ではなく、「将来につながる分野を見据え、重点化を図る予算」への転換が不可欠である。
市長が示した「選択と集中」「メリハリの効いた予算編成」「将来世代への責任」という考え方は、まさにこの現状認識と重なるものであり、今後はその方針を具体的な政策として着実に形にしていく段階にある。

以上を踏まえ、以下の提言を行う。

1．地方創生
― 若者・女性に選ばれ、戻ってこられる山県市へ ―

地方に魅力的な仕事がなければ、若者は住み続けることができない。
特に若い女性の流出理由として、地元に魅力的な雇用の場がないことが挙げられており、働き方や職種の選択肢を広げることが不可欠である。

IT・テレワーク対応企業の誘致や、既存企業の働き方改革支援を通じて、若者や女性が安心してキャリアを描ける雇用、低廉な住居環境を整備すべきである。
あわせて、自然環境、子育て環境といった山県市の強みを、資産形成期のメリットとして戦略的に発信し、都市部志向に対する固定観念を打破する必要がある。

2．子ども子育て支援
― 「子育てできる」ではなく「子育てしたい」まちへ ―

出生数の減少が続く中、子育て支援は最重要の未来投資である。
保育環境の充実や負担軽減にとどまらず、「山県教育ビジョン 2025」に基づく学校外の学び、地域と連動した教育環境の充実を通じ、このまちで育つ価値を明確にする必要がある。

誰もが安心して子どもを産み育てられる環境整備のためには、行政、政治、企業および市民が一丸となり、まちぐるみで子育て世代を応援していくことが重要である。
共働きがスタンダードとなる中で、高まる保育ニーズへの的確な対応、保育士の確保、保護者の所得に関わらない負担軽減を、引き続き進める必要がある。

一方で、「消滅可能性都市」と指摘された山県市においては、子育て支援を就学前や義務教育段階に限定するのではなく、子どもが育ち切るまでを見据えた支援へと発想を広げることが不可欠である。

本市には、18歳までのすべての子どもを対象とする
「山県市子育ち応援条例」があり、その理念を具体的施策として具現化し、高校生までを含む切れ目のない18歳までの支援を充実させていく必要がある。

特に高校生世代は、進学や就職といった将来選択を控え、家庭の経済状況による影響が顕在化しやすい一方、「このまちで育ってよかった」「将来は山県市に戻りたい」と感じるかどうかを左右する重要な時期である。
この世代を含めた支援の充実は、将来の定住・回帰につながる重要な人口減少対策である。

3．就職氷河期世代支援

―地域を支える中核世代を孤立させない―

就職氷河期世代は、不遇な時代背景のもとでキャリア形成を迫られ、現在も賃金や資産形成の面で厳しい状況に置かれている。
住宅ローン、親の介護、子の教育費といった負担が集中するこの世代に対しては、現金給付を含む直接支援や、介護と就労の両立支援、柔軟な就労機会の確保など、実効性ある施策が必要である。
これは特定の世代を優遇するものではなく、地域全体の持続性を高めるための投資である。

4．行財政改革とDX

―生き残る自治体への構造転換―

「消滅可能性都市」と指摘された以上、行財政改革は努力目標ではなく必須条件である。
DX推進と職員育成を両輪とし、業務効率化によって生み出された財源を、若者・子育て・定住促進といった未来分野へ再投資する循環を確立すべきである。

視察研修工程表

6月29日

自宅→JR岐阜駅→JR名古屋駅→JR品川駅→JR高輪ゲートウェイ駅

（新幹線　政務活動費使用）

6月30日

東京メトロ永田町駅→JR東京駅→JR名古屋駅→JR岐阜駅→自宅

（新幹線　政務活動費使用）

様式第６号(第６条関係)

領収書貼付用紙

年度	令和７年度	項目	研修費
整理番号	2	議員名	古川雅一
支出の按分の状況	(按分の内容)		
	(按分率)	(政務活動費充当額)	33,160
領収書の補足説明	宿泊費、新幹線代（JR名古屋駅～JR東京駅往復）地域未来ビジョン創造セミナー		

領収書又はこれに準ずる書類　別紙

EX

領収書番号：00MISJLF　再表示
表示日時：2026/01/10 17:26

領収書 (RECEIPT)

宛名 (RECEIVED FROM)	古川　雅一様
領収金額 (THE SUM)	¥33,160-
取引内容 (IN PAYMENT)	研修旅費として　(税込み10%) (For training trip expenses) (10% including tax)
領収日 (DATE OF RECEIPT)	2025/12/16
ご出発日 (DEPATURE DATE)	2026/01/08
お問合せ番号 (APPLICATION NUMBER)	
お支払方法 (PAYMENT METHOD)	クレジットカード (CREDIT CARD)
旅行代金 (TRAVEL CHARGE)	¥33,160-
内訳 (DETAILS)	クレジットカード (CREDIT CARD)　¥33,160-
	EXポイント (EX POINTS)
	クーポン (COUPON)
	補助金 (SUBSIDY)

株式会社ジェイアール東海ツアーズ
JR TOKAI TOURS, INC
登録番号(T6010001046449)

様式第4号（第5条関係）

令和　　8年　1月　8日

山県市議会議長　　様

山県市議会議員　　古川　雅一

研修視察等報告書

山県市議会政務活動費の交付に関する規則第5条の規定により、下記のとおします。

記

1　期　　間　令和 8 年 1 月 8 日から 8 年 1 月 9 日

2　研修視察先　ベルサール汐留

3　研修視察名　地域未来ビジョン創造セミナー

4　研修視察者　古川雅一、武藤孝成、吉田茂広、寺町祥江、武藤行儀、河合雅俊

5　概　　要　別紙参照

6　効　　果　別紙参照

様式第1号（手引き第3章関係）

令和７年度　山県市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名　　古川雅一

１．会の名称　議員有志の会	
２．開催日時	令和8年　1　月　8　日（木） 14時　0分　～　16時　45分
３．会場	東京都中央区　ベルサール汐留
４．参加議員名	古川雅一、武藤孝成、吉田茂広、寺町祥江、 武藤行儀、河合雅俊
５．参加人数	６名
６．内容（目的）	AIがもたらす未来～人工知能の現在とこれからの社会～ 漁業から見た日本の安全保障問題～国境紛争と外国人依存～

注１　関係書類を添付すること。

注２　事業ごとに別様として作成すること。

地域未来ビジョン創造セミナー

日時　令和８年１月８日（木）

場所　ベルサール汐留Ｂ１ホール

「AIがもたらす未来～人工知能の現在とこれからの社会～」

講師　池谷裕二氏

脳とAIは何が似ていて何が違うのか？人らしさとは何か？直感、創造、発想、芸術、などではない、アイデアなどはAIが得意である。

今後は、画像も無料で生成AIが作ってくれる時代になる。選択肢も多様に出してくれるが、選び取るセンスは人間に必要不可欠。

講師　佐々木貴文氏

「漁業から見た日本の安全保障問題～国境紛争と外国人依存～」

現在の漁業関係者は全国で焼く12万人まで減少している。そのうち技能実習生など外国人を約6,000人受け入れてなんとか操業しているのが現実である。

漁業は国の安全保障に直結している。現実に中国などは漁業を第3の海軍化させて日本のEEZギリギリまで根こそぎ水産資源を持っていっている。実効性ある漁業振興策、言葉ではなく、現実を見据えた持続可能な対応が国の政策として求められる。

令和7年度

地域未来ビジョン創造セミナー

主催 全国市議会議長会



日時　令和8年1月8日(木)

会場　ベルサール汐留
（中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル）

講演会　B1ホール　　意見交換会　2Fホール

開場・受付開始	13:00～14:00
開会・開会挨拶	14:00～14:05
特別講演	14:05～15:15
専門講演	15:25～16:45
意見交換会	17:00～18:30

会場アクセス
ベルサール汐留
中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル
https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/higashiginzo/bs_shiodome/

お問い合わせ先
セミナー開催事務局（時事通信社 官庁部）
メールアドレス：g-info@grp.jiji.co.jp

令和7年度

地域未来ビジョン創造セミナー

主催 全国市議会議長会

プログラム Program



特別講演　14:05～15:15

講師 東京大学薬学部教授

池谷 裕二氏

演題「AIがもたらす未来 ～人工知能の現在とこれからの社会～」

略歴：1970年生まれ。1993年、東京大学薬学部を卒業。98年には薬学博士号を取得し、98年より東京大学薬学部にて助手、講師、准教授を務める。2014年には教授に就任。2002年～05年の間、コロンビア大学の生物化学講座に客員研究員として留学。専門分野は神経生理学で、脳の健康について探究している。



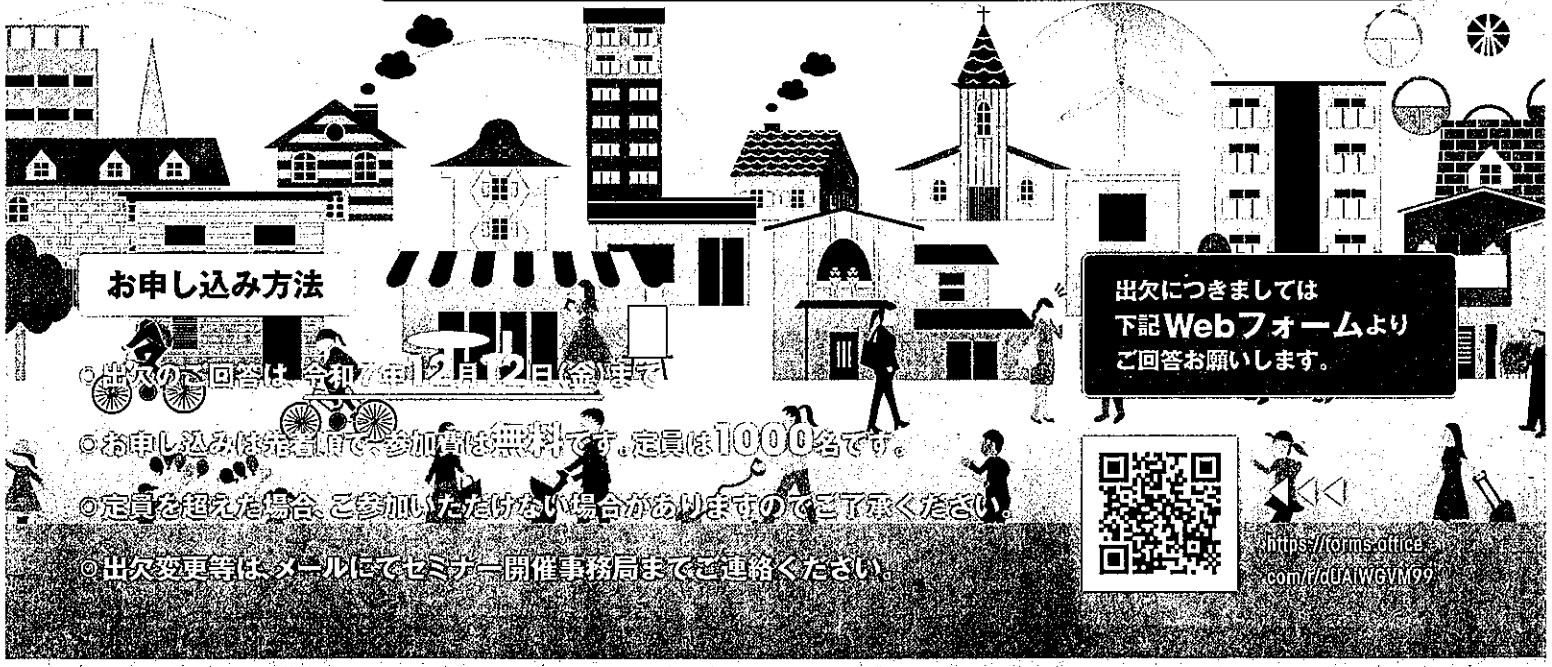
専門講演　15:25～16:45

講師 北海道大学大学院水産科学研究院教授

佐々木 貴文氏

演題「漁業から見た日本の安全保障問題　国境紛争と外国人依存―」

略歴：1979年三重県津市生まれ。2006年、北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程を修了。博士（教育学）。日本学術振興会特別研究員や鹿児島大学大学院水産学研究科准教授を経て、現在は北海道大学大学院水産科学研究院准教授を務める。



お申し込み方法

○出欠のご回答は、令和7年12月12日（金）まで

○お申し込みは先着順で、参加費は無料です。定員は1000名です。

○定員を超えた場合、ご参加いただけない場合がありますのでご了承ください。

○出欠変更等は、メールにてセミナー開催事務局までご連絡ください。

出欠につきましては
下記Webフォームより
ご回答お願いします。

https://forms.office.com/r/dUAiWGVM99

会場アクセス

ベルサール汐留

中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル

https://www.bellesalle.co.jp/shiosite/access/index_shiosite.html

お問い合わせ先

セミナー開催事務局（株式会社 創新部）

メールアドレス：g-info@grp.jfj.co.jp

様式第1号（手引き第3章関係）

令和７年度　山県市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名　　古川雅一

１．会の名称　議員有志の会	
２．開催日時	令和8年　　1　月　9　　日（金） 10時　0分　～　　11　時　0分
３．会場	東京都千代田区丸の内　丸善・丸の内本店４階ギャラリー
４．参加議員名	古川雅一、武藤孝成、吉田茂広、武藤行儀、河合雅俊
５．参加人数	5名
６．内容（目的）	山県市出身、丸善の創業者、早矢仕有的資料展の見学

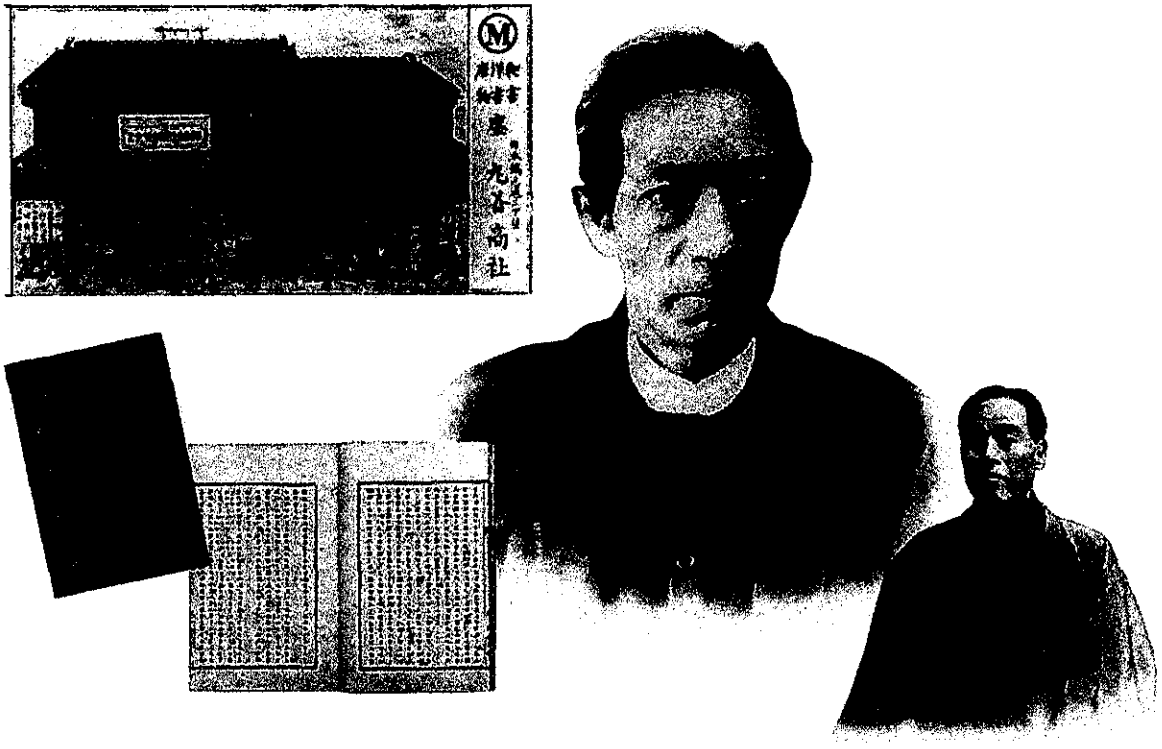
注１　関係書類を添付すること。

注２　事業ごとに別様として作成すること。

「丸善」を創った男

早矢仕有的（はやしゆうてき） 資料展

～福澤諭吉とともに日本の近代化に尽くした医師～



〈会期〉
2026年1月2日(金)～1月13日(火)
9:00～21:00
※1月2日(金)は19:00閉場、1月13日(火)は15:00閉場
入場無料

〈会場〉
丸善・丸の内本店4階ギャラリー
東京都千代田区丸の内1-6-4 丸の内オアゾ内
TEL:03-5288-8881

〔主催〕株式会社丸善ジュンク堂書店、丸善雄松堂株式会社、丸善出版株式会社
〔協力〕慶應義塾、岐阜県山県市

視察研修工程表

1月8日

自宅→JR岐阜駅→JR名古屋駅→JR東京駅→ベルサール汐留

（新幹線　政務活動費使用）

1月9日

JR東京駅（早矢仕有的資料展）→JR名古屋駅→JR岐阜駅→自宅

（新幹線　政務活動費使用）